

令和5年度

講評と対策

入学試験問題

四天王寺中学校

国語

問題内容

配点

出題の意図

一『宿命』を生きる若者たち』 格差と幸福をつなぐもの
土井隆義(岩波書店)

40点

映画の世界観を通して、若者たちの「人間関係の変化」について、
筆者の考えを読み取る。

二『螢の唄』
早乙女勝元(新潮文庫)

50点

現在と過去(戦時中)の話から、咲子の心象風景を読み取る。

三『作家たちの十七歳』
千葉俊二(岩波ジュニア書店)

30点

人生について考えたとき、十七歳の「分岐点」の
大切さを主張する筆者の考えを読み取る。

各問題講評

【書き取りについて】

- よくできていたが、同音異義語には気をつけてほしい。

【二】問1【三】問1(正答率90%)

【文の構成】

- 指示語や傍線部の前後に注意して、文脈をしっかり理解してほしい。

【二】問8(正答率70%)

傍線部の後にある「人間にはいいことと悪いこと」に注目して、黒川組
長の発言部分をぬき出していた。

問11(正答率70%)

多かった誤答「花房咲子」

登場人物の関係や現在と過去のつながりをしっかり理解してほしい。

【三】問8(正答率85%)

傍線部の前にある指示語の「それら」が理解できていた。

【ことばの問題】

- 文中での意味を正しく理解できるようにしてほしい。

【二】問2(正答率80%)よくできていました。

【三】問2(正答率60%)

「腹・口・鼻」という誤答が多かった。文脈に合う意味の慣用語が書けていなかった。

【抜き出し問題】

- 「比喩表現(何を何にたとえているか)」等、質問内容をよく理解してほしい。
誤字誤字のないように抜き出してほしい。

【一】問1(正答率60%)

比喩で表したことが「地獄」をぬき出していない誤答が多く見られた。

「人間関係の濃密さ」「羽ばたきたい欲求」

問2(正答率60%)

説明文の中に「一人になるための」というヒントがあるのに感覚だけで答えて
いる。「一人になるための」は、三段落後ろにある。

問3(正答率80%)

比喩をみつけれられていない。

問6(正答率30%)

「状態」の説明をしなればいけないことが理解できていない。(1)(2)の解
答が逆になっている誤答が多かった。

問7(正答率20%)

問6の「うめこまれていた」に対して「脱うめこみ」という文章構造が理解でき
ていない。

問8(正答率60%)

問題文にある「どのような社会になりましたか」という「社会」で終えるというヒ
ントに気付いていない。

問9(正答率30%)

「逆説」の意味が難しかったようです。

【二】問7(正答率80%)

「少年時代」というヒントによく気付いていた。

問10(正答率50%)

せっかく内容を理解しているのに、ぬき出しがきちんとできていない。多かった誤
答「～せい」が抜けていたり、「～せい」の部分が「から」「こと」になっている。

【三】問4(正答率40%)

多かった誤答「人生の選択 人生の軌道修正」

「判断=選択」に着眼しているが、「積み重ね=総和」というところに気づけていなかった。

問5(1)(正答率70%)

正答率が高いのに「捨」の誤字が多かった。注意してぬき出してほしい。

問6(正答率70%)

多かった誤答「千分の一くらい」の誤差」

比喩表現(何にたとえているか)を答えられていない。

問8(正答率30%)

「十六、七歳ころ=十代後半・ナカバ」なので、解答は、第四段落にあり、最後
まで読んで、最初に戻るといふ、小学生には難しい問題でした。

【客観問題(選択肢)】

- 比較的正答率は高かった。以下、正答率の低かったもの。

【一】問10(正答率40%)

多かった誤答(イ)・(ウ)。まぎらわしい選択肢だったがしっかり比較して、正解
にたどり着いて欲しかった。

【二】問6(1)(正答率50%)

咲子は「けい子、あぶない」とさげんでいる。

【記述問題】

- 傍線部をしっかりと読み取り、何を問われているかを正しく理解して解答して
ほしい。また主語と述語の関係をおさえた上で、必要なことばを選んで書いて
ください。決して本文をそのままぬき出して解答しないこと。

【一】問4(正答率60%)

本文をそのままぬき出して解答している。最終的な結論である「のがけたい」
がぬけている。

【二】問4(正答率40%)

「カタカナ表記」の表現意図を説明するのに文脈にふれていない。解答らんに合わせて
答えなければならぬので、主語「ゆかり」の述語が必要なのに書けていない。

問9(正答率60%)

16行後に「勇太は見た」とある。また、ここでの「おばさん」は末子の母である。

次年度入試 アドバイス

出題傾向はここ数年大きく変わっていません。大学入試を見据え、長
文の小説や現代社会の問題に関わる文章を出題しています。小学生の
話し言葉にはない少し古い文章語や、抽象的な概念を表すことばを用
いた文章に慣れることが必要です。普段から小学生でも読める評論(例
えば岩波ジュニア・ちくまプリマー・ブルーバックスなどの新書)、文学的な
小説などを意識して読み、表現力を身に付けてください。

また、社会問題にも関心を持つことも大切です。新聞記事を読む習慣
もつけてほしいと思います。長編も出題されますが、慣れることで早く・正
確に読めるようになります。

正しく解くためには小説、評論のジャンルにかかわらず、問題本文はも
ちろんですが、設問の読み取りは大切で、語彙力の有無は大きく作用し
ます。求められていること(何が何にたとえられているか等)を限られた時
間内に答えることを意識し、時間をはかって解答する練習をしてくだ
さい。傍線部周辺を参考にして、とりえず解答を作成していくのではなく、
文章を確実に理解しキーワード・キーセンテンスを用いて記述問題に取り
組み、練習することで書く力が身につけていきます。

社会

問題内容

配点

出題の意図

1 【地理分野】 各地の農業	22点	農業に関する知識やデータをもとに、用語をはじめとした各県の特徴を理解できているかを問うた。
2 【歴史分野】 歴史的建造物	20点	家族旅行で訪ねた歴史的な建物に関連することがらから、古代から現代までの歴史的知識を問うた。
3 【歴史分野】 政治・外交・文化	16点	原始・古代から近代にかけて、政治・外交・文化に関する知識・理解を様々な資料を用いて問うた。
4 【公民分野】 時事問題など	22点	2022年4月から9月までの時事問題とそれに関連した政治分野に関する問題を出題した。

各問題講評（具体的に）

- 1 全体的には正答率は低くはなかった。問1の空欄をうめる問題では、ジオパークや年号での誤答が目立った。問6では茨城県のキャベツの出荷時期での誤答が多かった。問7では抑制の漢字間違い。問8では問題文Aの県を愛知県と、Dの県を栃木県とする誤答が多かった。
- 2 全体的に得点率は高く、古代から現代における歴史の基本的知識を身につけている受験生がほとんどであることがよくわかった。一方で、問1(え)校倉造の漢字が書けていない受験生が多かった。問8の40字で説明する問題でも正答率自体は高かったが、漢字を正しく書けていない受験生が少なからずいた。
- 3 全体的に得点率は高く、資料を素早く正確に読み取ることも概ねできていた。問3の鑑真・唐招提寺を答える問題では、漢字を正しく書けていない受験生が目立った。問5の正答率がやや低かったのだが、誤答のほとんどが藤原道長であった。「この世をば我が世とぞ思ふ望月の欠けたることもなしと思えば」という和歌をもとにした問題であったが、問題文は最後までしっかり読まなければいけません。ちなみに、この問題の正解は、藤原鎌足でした。
- 4 時事問題は、選択形式の問題にしたこともあり、非常によくできていた。内閣の働きと衆参国會議員選挙に関する問題は、三つの文章から正しいものを「すべて選ぶ」形式で出題したため、少し正解率が低くなった。出題の形式を問わず、自信をもって答えられるよう、時事問題だけではなく、公民的分野の教科書の内容を理解してください。

次年度入試 アドバイス

1【地理分野】

用語を暗記するだけでなく、その用語がどのように文中で使われているか、また用語が説明できるかといった学習が必要です。他にも教科書や地図帳に載っているグラフや表は必ず見ておき、その中から特に値の大きなものや小さいもの、目立つものといった特徴のあるものをみておく必要があります。グラフや表を比べ、どのようなことが読み取れるかを考える習慣をつけください。各都道府県の特性を学習するときに形などもみておくとうれしいでしょう。

2【歴史分野】

まず歴史用語を、正確に漢字で書けるようにしましょう。歴史用語で「きごと・人物が、いつの時代のものなのか」という「時期区分」も正確に把握する必要があります。歴史的事象の内容はもちろんですが、歴史地理・因果関係・背景などと結びつけながら学習をしましょう。また、教科書等に掲載されている写真などの資料を読み込み、ビジュアル的な理解にも努めてください。

3【公民分野】

普段から新聞やニュースなどをみて、国際社会、日本の政治・経済・文化など、分野ごとにまとめるノートなどをつくとよいでしょう。新聞の切り抜きやネットのニュースを印刷し、貼り付けるような作業も学習になります。それらのニュースが、社会科の教科書のどの分野に当てはまるかを考えて、社会科の勉強に結びつけることができるようになってください。

4【全般】

地理分野・歴史分野・公民分野を全体的にバランス良く学習してもらいたい。資料の読み取りや、文章を読み内容を正しく把握する「読解力」が大切です。正しい漢字で答えられることも大切です。用語を丸暗記するだけでなく、考える習慣を持てほしい。つまり、社会の出来事に広く関心をもつことや、「なぜそのようなことが起こったのか」、「それによって、社会にどのような影響を与えたのか」という興味を持ち、「暗記だけではなく考える習慣」を身につけることが大切である。その上で、自分の考えを持ち、表現できるようになることが社会の成績向上にもつながるのです。

算数

問題内容

配点
(120点満点中)

出題の意図

1.2. 計算・小問集合	26点	四則混合の基本計算が正確にできるか。 基本的な文章題が解けるか。
3. 平面図形	19点	基本図形の性質、線分の比の関係を用いて、図形の面積を求めることができるか。
4. 文章題(場合の数)	19点	①で場合分けしたことをもとに②③へ場合分けをひろげていくことができるか。
5. 文章題(数の規則性)	19点	数の規則性を読み取ることができるか。
6. 速さ・時間	19点	基本的な速さの問題です。文章から状況を読み取り、計算式を作ることができるか。
7. 立体(表面積・体積)	18点	表面積の意味を理解し、また、指示通りの図形が想像でき、問いかけに答えることができるか。

各問題講評

正答率(概算)

- | | | | | | |
|---------|------|---------|---------|------|------|
| 1. ①85% | ②85% | 2. ①81% | ②81% | | |
| 3. ①78% | ②58% | ③50% | 4. ①77% | ②58% | ③50% |
| 5. ①85% | ②78% | ③52% | 6. ①85% | ②49% | ③18% |
| 7. ①85% | ②50% | ③15% | | | |

【講評】

- ①②は基本の計算です。いずれもよくできていました。
- ①問題文をよく読み類推し答えを導く問題です。
②は増額分に注意して年間の合計を考え、答えを導く問題です。
①②ともよくできていました。
- 平面図形の問題です。
①図の対称性からA,C,Gが直線上にあることがわかり、△AGFと△CGBが拡大図・縮図の関係であることからBG:GFがわかります。
②ADとECを延長することで拡大図・縮図の関係である2つの三角形がわかりBH:HFがわかります。
③①②の結果よりBF:HGを求め、正方形の面積から△FBCの面積、次に△CGHの面積が求まります。
③の正解率はあまりよくありませんでした。
- 5人がどのような得票になっているかを場合分けする問題です。
①残り2票をB,C,D,Eの4人でどのように振り分けるか考えます。
(i) 1人が2票の場合 (ii) 2人が1票ずつに場合分けします。
②(i) Aが5票で代表 (ii) Aが4票で代表 (iii) Aが3票で代表 (iv) Aが2票で代表 の4通りに場合分け
③(i) 全員1票 (ii) 2票が2人、どの2人が2票かを考え、そのそれぞれの人に誰が1票かを考える。②③のように場合分けが多くなると正解率が下がっています。
- ①求める数は1から900までの整数を5つずつの組に分けた179組目の前から4番目である。
つまり $179-1=178$ 、178組目の最後の数 $5 \times 178 + 4$ をたせばよい。
②同じように考えて式を作ると $\square \times (13-1) + 19 = 451$
③ $\square \times (\square - 1) + 4 = 209$ $\square \times (\square - 1) = 205$ となり $205 = 5 \times 41$ だから900で割り切れる数は5だから $\square = 5$ とわかる。
①②はよくできていましたが、③は考える内容が多い分正解率は下がっています。
- よく出題される速さの問題です。①はよくできていましたが、②③の状況が読み取れなかったのか正解率はよくありませんでした。
- ①の表面積についてはとても正解率がよかったです。

②の求める立体の体積は、いちばん上の1辺の長さ1cmの立方体が回転してできた円柱の体積の100倍です。その円柱の体積は(対角線の長さ) $\times$ (半径) $\times$ (半径) $\times 3.14 \times 1$ です。
(半径) $\times$ (半径)の部分は、1辺の長さ1cmの正方形の面積と(対角線の長さ)の関係式(対角線の長さ) $\times$ (対角線の長さ) $\div 2 =$ (正方形の面積)つまり(半径) $\times$ (半径) $\div 2 = 1 \times 1$ (半径) $\times$ (半径) $= 2$ となります。中学入試にはよく出題される関係です。
③立体の切断の問題はよく出題される問題です。切断されたときの図形の想像が苦手なのか正解率はよくありませんでした

次年度入試 アドバイス

毎年申し上げていますが、計算力はすべての問題の基本であるから、早く正確にできるように練習しておきましょう。また、全体をながめ計算の工夫が自然にできるように、ふだんから心掛けて取り組んでください。合格点を取るために、計算問題は、落ち着いて計算し全問正解しましょう。

また、小問や、大問の①②は基礎的な問題が多いので、日頃から数多く基礎を練習し、素早くそして確実に正解できるようにしておきましょう。

例年、後半の大問の文章題は、型にはまった問題が少なく、公式や解法の丸暗記では解くことができません。問題文をしっかりと読んで内容を十分に理解した上で、図を描いたり、書き並べてみたり、表・グラフ・ダイヤグラムを作って利用するなど、その場で解法の糸口を見出せるよう、ふだんから思考力と試行力を養っておいてください。

平面図形の問題は、図形を並べ替えて面積を読み取ったり、折り返したり、対称性を利用したりといった特徴を活用できる目を養っておいてください。

立体については、立体を積んだり傾けたり切ったりして、頭の中で立体が考えられるようにしたいものですが、複雑な場合は断面図や展開図も描け、視覚化できるようにしておいてください。

本年度入試に関しては全体的に取り組みやすく、特に大問1、2、3、6のような定番の問題は素早く解けるよう、十分に演習を重ね、確実に点数をとれるようにしておいてください。7のような立体図形の応用問題では過去問などを参考に、対策を考えてしっかり準備しておいてください。

本校の過去の問題を見ればわかるように、難問・奇問(特に、小学校の学習指導要領の内容を超える分野)ばかりを練習する必要はありません。標準レベルの問題を自分で十分に理解、納得して解くという勉強の姿勢が大切です。

理科

問題内容

配点

出題の意図

1 動物の行動	20点	前半は托卵の際の行動一つ一つに焦点をあて、後半は托卵をする側とされる側の共進化を意識しながら、動物の行動の意義を問うた。
2 物質の変化とその条件	20点	化学カイロを題材に、実験データやグラフを読み取って考察する力、化学変化の量関係の思考力などを問うた。
3 光と物体の見え方	20点	光に関する身近な現象について、与えられた規則性や実験の様子を元に思考する力を問うた。
4 太陽の動きと星の明るさ	20点	天体の基本的な知識を確認するとともに、「等級」の決まりを読み取り、その規則性を活用する力、等級値の比較から恒星の大きさや恒星までの距離を考察する力を問うた。

各問題講評

- 概ねよくできていたが、その分、文中からの抜き出しが不正確である解答や、空欄補充をするとなりがおかしくなるような解答など、不注意による失点が目立った。
- (5)「酸素」と言えば、「線香が明るく燃える」という短絡的判断による誤答が目立った。
(6) 正答は、なめらかな曲線のグラフになるのだが、グラフのプロット(点)を順に直線で結んだ折れ線グラフを記しているものが目立った。
(8) 想定していたよりはできていた。桁の間違いや、小数第二位までという指示に従っていない誤答が目立った。
- 光の三原色についての知識を持っている受験生は多かったが、実際に光を重ねたときの配色図をもとに、実験の様子を正しく理解し、結果を予想することができていなかった。光の直進性を考え、どの光源からの光が届いているのか、その結果何色に見えるのか、という順序で現象を捉えることができていなかった。
- 太陽の動きについては、地球の公転軌道上における春の位置の取り違えが多く見られた。問題後半の星の動きと明るさの部分においては、星座の名称や色と明るさの関係など単純な知識問題はよくできていた反面、等級値の比較から恒星までの距離の大小を判断したり、恒星の大きさを比較したりする間、問題文に記載されている規則性、法則を活用する問いは正答率が低かった。

次年度入試 アドバイス

- (1) 以外は特に知識が無くても取り組めるように出題した。文章から必要な情報を読み取り、整理して、イメージする力が必要となる。このような問題を速く正解できるか否かで、その他の大問の出来が大きく変わる。日頃から自然現象に興味を持つこと、長い文章を積極的に読んで具体的に脳内で映像に変換すること、を意識して訓練してほしい。
- 与えられたデータをプロットしたものだけを見るのではなく、物質の変化がどのように連続的に進んでいるのかをイメージしながら解答できるようになってほしい。
- 初めて出会うような問題でも思考できるように、普段の勉強時から実験の結果や解法を覚えるだけでなく、問題文をしっかりと読み解いたり、実験の様子を正しく把握するようにしたりすることを意識して欲しい。
- 理科の学習においては、自然現象に関する正確な知識を多く持つと同時に、様々な法則、規則を現象と関連させて理解する力、法則、規則を活用し、新たな事象の予測につなげてゆける力を培うことも重要である。今後の学習において、これら「活用する力」を高めるよう意識して努力を続けて欲しい。